

年 月 日

西 宮 市 長 様

(設計者)

住所

氏名

電話番号

宅地造成工事を伴う建築工事について

以下の予定建築物について、別添図面のとおり指定確認検査機関へ建築確認申請を行う予定です。建築計画に変更があった場合は、遅滞なく市に報告し、必要に応じて変更手続きを行います。

申請地	所在地 (町名・地番)	西 宮 市		
	用途地域		敷地面積	m <sup>2</sup>
造成主				
予定建築物の 範囲	別添図面で朱書きにより囲まれた範囲内			
予定建築物の 用途				
指定確認検査機 関の担当者	TEL ( )			
その他				

添付図書：配置図、平面図、断面図、立面図、基礎伏図等

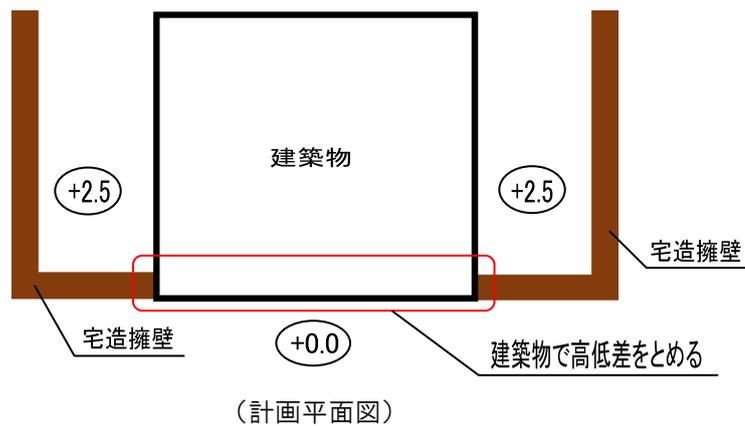
※次頁の「本様式の使用について」をご確認ください。

# 本様式の使用について

## 1. 様式の目的

建築基準法第6条第1項及び同法施行令第9条の規定により、建築工事に着手する前にその計画が建築基準関係規定である宅地造成等規制法第8条第1項及び第12条第1項（以下、宅造許可という。）に適合することとされています。

下図のような建築計画の場合、宅造許可申請時点で建築物周囲の接する地盤は宅造擁壁の他、建築物がないと成立しない計画ですが、宅造許可申請では建築物を審査しないため、本様式により宅造許可図面と確認申請図面の整合をとり、擁壁と建築物の位置関係等計画に概ね支障が無いかを確認するものです。



## 2. 注意点

宅地造成工事の完了検査において、施工不備により許可基準に合致しない等により手直しを指示する場合があります。宅地造成に伴い建築工事を行う場合、建築物が建っていることにより手直しが困難になる等リスクが伴うことを理解の上、工事の進め方を決定するようにしてください。